アジア・日本研究所

Asia-Japan Research Institute



アジアを基軸に新たなアジア・日本研究を追求し 未来のアジア・日本における共通ビジョンの形成を目指す

「アジア太平洋地域に位置する日本の学園」という認識のもと、「多文化共生の学園を確立する」。「立命館憲章」にそう謳われているように、立命館大学は「アジアの中の日本」を視座にグローバル化を推進しています。その一環として、アジアを基軸に置いた新たなアジア研究、アジア・日本研究を追求するため、2015年、アジア・日本研究所は設立されました。未来のアジア・日本の共通ビジョンを形成することを使命に掲げ、アジア全体と日本における「多文化共生社会」の実現に寄与する研究を推進しています。

本研究所の特長は、人文科学・社会科学のみならず自然科学分野も含め、学際的かつグローバルに研究に取り組むところにあります。「アジアのゲートウェイ」を掲げる立命館大学大阪いばらきキャンパスを拠点とし、アジアからの研究者や留学生も参画して独創的な研究に挑んでいます。

2016年に「アジア・日本研究推進プログラム」をスタート。「共生」「共創」「協働」の3つの研究領域で、精力的に研究活動を展開しています。「共生」領域では、アジア諸国での科学的根拠に基づく育児・就労支援の構築を目指す研究や、拡大するアジアの文化創造産業に必要となる人材育成の制度化のあり方を模索しています。「共創」領域では、ベトナムとの農畜水産業を支える環境技術の共同研究や、中国の台頭による東アジア地域や世界経済の構造変容を捉える研究などが展開されています。また「協働」領域では、アジアにおける人口移動が生み出す問題を克服するための研究や、中国の政治経済政策と途上国の関係を「人間の安全保障」の観点から捉え直すことで弱者の存在を可視化する研究が行われています。

また、アジア・日本研究所は、次世代の「アジア・日本研究」をリードする若手研究者の育成を特に重視しています。若手研究者の研究活動とキャリア形成をサポートするシステムを構築。グローバルに成果を発信する機会も豊富に提供し、大きな成長を後押ししています。学位修了後の研究者のための「大学院連携次世代研究者育成プログラム」では、立命館大学で学位を取得した研究者が研究力、キャリア形成力を高めることができるように、特別のプログラムを実施しています。グローバルな研究視野を養うことも重視して、国際研究集会の企画・運営や英文での出版などに力を入れ、すでに専任ポストで研究を続ける若手を輩出しています。

さらに、アジア・日本研究所は、国際的な研究連携に重点を置いていて、アジア諸国の諸大学と研究協力協定を結び、グローバルな連携を展開しています。2022年以降、東アジアや東南アジアの大学やオーストラリア国立大学を含むアジア太平洋地域の諸大学とも大学間MOUを結び、世界に貢献する知の創出や価値創造に邁進しています。

『アジア・マップ：アジア・日本研究Webマガジン』

ISSN：2759-5110



研究所が力を入れるデジタル・トランスフォーメーション（DX）の一環として、アジア諸国の様々なテーマに関する専門家による総説やエッセイ・年表などを発信しています。

ジャーナル紹介



Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University
（略称：『AJI Journal』）
2019年7月創刊

年1回発行の英文誌（オンライン＋冊子体）。厳密な査読システムで、論文を審査（J-STAGEに登録されています）。日本語・アジア諸語の研究書を紹介する書評、アジア・日本研究推進プログラムの報告も掲載しています。



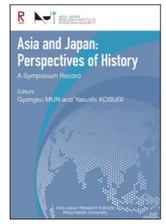
Asia-Japan Research Academic Bulletin
（略称：『Asia-Japan Academic Bulletin』）
2019年11月創刊

通年発行のオンライン英文誌。随時受け付け、査読が終了次第の掲載で、スピーディに投稿に対応。厳密な査読システムで、論文と研究ノートを審査（J-STAGEに登録されています）。研究報告、書評（対象書籍の言語は自由）も掲載しています。



『立命館アジア・日本研究学術年報』
（略称『アジア・日本研究学術年報』）
2020年6月創刊

年1回発行の和文誌（オンライン＋冊子体）。厳密な査読システムで、論文と研究ノートを審査（J-STAGEに登録されています）。立命館大学、立命館APU大学の教員・研究者の書籍を書評して、立命館のアジア・日本研究を広くお知らせしています。



AJI Books
（AJIブックス）
2021年1月創刊

研究所の研究成果や研究活動の記録を、主として英文の書籍として刊行しています（おおむね80～150頁）。
これからは、国際発信をさらに強め、海外の大学や研究機関との共同での刊行もおこないます。

主な研究テーマ（アジア・日本研究推進プログラム、研究所重点研究等の研究課題）

- アジアからの世界史像の再構築
- アジア的文明・発展経路の多元性
- アジアと日本における多文化共生と相互理解
- グローバル化時代の日本哲学の国際貢献
- 政策科学研究によるアジア都市論
- ポストメディア時代の東アジアの文化芸術
- アジアの核危機と安全保障：地域間比較
- アジアの文化創造産業の拡大と人材育成
- 農畜水産業を支える環境技術の日越研究連携
- アジアにおける現地主導の災害管理と人道支援
- インドネシア歴史文化遺産のデジタル可視化
- アジアの諸言語とマルチリンガリズム
- 東アジア漢字文化圏における日中韓の交流
- アジアの伝統医薬と食材探索を用いた糖尿病予防
- アジアのジェンダー平等をめざす政策提言
- 世界経済の分析と東アジアの地域協力
- 現代アジアのエスニシティとディアスポラ
- 東アジアにおける炭素中立の実現
- 近現代におけるアジアと日本の形成
- 混合的手法による新たな地域研究の探求
- 穏健なアジア・イスラームと社会発展

研究所長：小杉 泰（立命館アジア・日本研究機構 教授）
主な研究拠点：大阪いばらきキャンパス
お問い合わせ：立命館大学 研究部 RARAオフィス TEL：075-813-8106 FAX：075-813-8202 ✉：aji-res@st.ritsumei.ac.jp
http://www.ritsumei.ac.jp/research/aji/